

要領様式第2号

出張報告届

令和 2 年 9 月 2 日

吹田市議会議長 木 村 裕 様

会派名 市民と歩む議員の会

出張者氏名 池 淵 佐 知 子 

.....


.....


.....



.....


.....


.....


下記のとおり出張したので届け出ます。

記

出張先	吹田市立文化会館（メイシアター）		
期間	令和 2年9月2日から 9月2日まで 1日間		
出張の成果	別紙のとおり		
備考	自治体議会研究所主催の 「自治体議会特別セミナー吹田」に参加するため	認 印	会派代表者
			

吹田市議会事務局
2 / 2
受付

2020.9.2

市民と歩む議員の会 池淵 佐知子

研修レポート

1. 2020年地方議会特別セミナーin吹田

「議員の資質向上と政務活動費活用策」

2. 令和2年(2020年)9月2日(水)13時半~16時半

3. 吹田市文化会館(メイシアター)3階第1会議室

4. 講師 高沖秀宣氏(自治体議会研究所代表)

5. レジメ目次

第1講 議員の資質向上

1 議会の役割・機能

2 議員の役割・資質

3 「二元代表制」と「議会改革」

第2講 政務活動費活用策

1 政務活動費とは何か

2 政務活動費の適正な運用

3 政務活動費と政策立案

4 政務活動費を巡る問題点

6. いけぶちメモから抜粋

第1講 議員の資質向上

1 議会の役割・機能

1) 議事機関 2) 議決機関 3) 監視する機能 4) 政策形成機能

議会の役割と機能として、「議決」と「監視」ということはよく言われるが、議決する前に議事機関として審議、審査しなければならない。熟議することが重要。

また、熟議、議決、監視にとどまらず、二元代表制の一つとして首長(行政部局)と同じく政策形成機能を発揮することが求められる。

2 議員の役割・資質

議員の役割は議会基本条例に定められる(定義される)ことが多い。

議決責任の認識、議員力及び議会力を強化することが必要

資質としては、専門性と一般性のうち、とくに特定分野に関する高い専門的知見、また合議体の議会において意見集約、合意を得るための調整能力も専門性の一つとして必要。

3 「二元代表制」と「議会改革」

二元代表制、議会は首長の追認機関ではない。

しかし、首長の権限に比較し、議会の権限は弱いのではないか。(地方自治法で限定列举とな

っている)

定数削減・議員報酬減額は議会改革ではない。行政改革の考え方を議会に持ち込まない。

議会改革を測る基準?早稲田マニフェスト研究所の議会改革度調査

吹田市議会は全国300位以内にも入っていない。おそらく議会報告会の未実施、議会基本条例の未制定などがマイナス要素になっているのではないかな。

第2講 政務活動費活用策

1 政務活動費とは何か

そもそも調査研究のために必要なものであった「調査研究費」からその他の活動にも使える「政務活動費」になり、さらに政府への陳情、要望の旅費にも使えるようになって、間口が広がってしまった。「その他の活動」はあくまでも「調査研究その他の活動」というように調査研究と一体のものである。

2 政務活動費の適正な運用

使うことが目的ではなく、議員活動の成果を挙げるための支援措置である。

政務活動の際の旅費は実施弁償とすべきであり、旅費条例の考え方と異なる。日当は不要。

3 政務活動費と政策立案

政務活動費の使途を拡大するのではなく、議会や議員の質の充実強化につながるものにしなければならない。

4 政務活動費を巡る問題点

政務活動費を廃止し、議員報酬を増額したところもあるが、なんにでも使える議員報酬と政務活動費は持つ意味が違う。

裁判が頻繁に行われ、映画『はりぼて』(富山市議会議員の不正受給)も上映されている

7. 感想・考察

改めて議会、議員の存在意義を考える良い機会になりました。セミナーの内容は、議員であれば当然知っておかなければならないことばかりですが、それでも、つい安きに流れがちなのが人間の弱いところです。

政務活動費についても具体的に吹田市議会の状況を他市議会のものと比較して説明していただきました。調査研究費よりも広報費が目立っていることについては、もっと調査研究費を使用して、政策立案・提言に注力すべし、という指摘がありました。また、成果報告書も公開すべきではという提案もありました。

吹田市議会では委員会の行政視察は報告書をHPで公開していますが、政務活動費を使った研修や視察についても同様に報告書をHPで公開することにより、市民に議員の活動内容を知っていただくことになると思います。

まだまだ吹田市議会が取り組むべき課題はたくさんあります。議会として取り組めるよう、個々の議員の意識向上が必要だと思い、自らの課題として認識しました。

以上